



ツルネコノメソウ (ユキノシタ科)



コゴメウツギ (バラ科)



ケナシヤブデマリ (スイカズラ科)

コ、そ菜、シイタケ栽培などに転換する家が増え、現在ではクワを栽培している家はごくわずかしかなかった。それでは、葛尾村の落合地区を出発して五十人山の頂上までの植物を観察して行こう。

湯ノ平地区からはいよいよ山道となる。車が通れないことはないが、ゆっくり歩きながら自然を観察しよう。スギやカラマツの植林をぬけると道の両側がやぶになっていて景観を損なうが、これが実は「マント群落」と呼ばれ、自然の中で重要な役割を果たしているものである。森林が切り開かれ、風通しや地面の日当たりがよくなると、さまざまな植物が一斉に芽を出しやぶをつくる。また、クズなどのつる